

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	市制施行100周年記念事業	新規/継続	新規事業	整理番号	0107600000 - 001	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費				
	項	総務管理費				
	目	企画費				
	事業	市制施行100周年記念事業				
施策分野	6 行政経営分野	事業所管課	政策局市制施行100周年記念事業推進室			
	6-2 自立した地方行政の推進		連絡先	(078)918-5280		
個別計画		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 29 年度
			根拠法令・要綱等			
実施方法		直営	○	補助・助成		その他
		委託		指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	様々な方法で明石の魅力を市内外に発信するとともに、子どもから高齢者まで幅広い世代の市民が地域愛を育む機会を創出する。また、「やさしいまち・明石」の創造・発信の契機とするなど、次の100年につながる取り組みを行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	明石のまちに愛着を感じる人の割合	明石のまちに愛着を感じる市民の割合	平成31年度	%	85

事業内容	①市制施行100周年記念事業の企画調整 平成31年に迎える市制100周年に向け、関係機関等と協議、連絡調整を図るとともに、記念事業の企画調整を行う。				
	②市制100周年記念プレ事業の実施 市制100周年、明石城築城400周年に向け、市制100周年記念プレ事業を開催する。				
	③市全体をあげた機運づくり 小学校や自治会をはじめとした各種団体への出前講座の実施等により、市民が明石の魅力を認識する機会を提供することで、市制100周年、築城400周年に向けた機運づくりを行う。				
	④各種媒体を利用したPR 広報あかし、ホームページのほか、SNS、ポスター、マスコミなどさまざまな媒体を利用し、幅広い世代に対してPRを行う。				
	⑤明石城築城400周年記念事業との連携 市制100周年と同年に迎える明石城築城400周年記念事業を主催する兵庫県との連携を密にし、両記念事業の一体的な実施に向け取り組むことで、相乗効果を図る。				
※本事業は、平成29年度より「市政の企画、調査事務」の一項目として事務を行ってきたが、平成30年度から「市制施行100周年記念事業」として事務を行う。					

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	0	0	0	0	0	0	0				
29当初予算	955	24,300	25,255	0	0	0	25,255	正規	7.00	アルバイト	0.00
29決算	259	24,300	24,300	0	0	0	24,300	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	16,851	56,700	73,551	0	0	0	73,551	任期付	0.00	合計	7.00

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	関係機関との協議、視察等旅費	34		報償費	研修講師謝礼等	100
需用費	100周年周知用物品製作、消耗品費等	225	旅費	関係機関との協議、近接地旅費等	500		
			需用費	100周年周知用物品製作、消耗品等	2,267		
			役務費	100周年周知用横断幕取付、会議開催通知発送等	254		
			委託料	プレ事業の企画・運営等	13,000		
			その他	会議室使用料、負担金等	730		
	合計		259	合計	16,851		

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0107600000-001	事務事業名	市制施行100周年記念事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	明石のまちに愛着を感じる人の割合	明石のまちに愛着を感じる市民の割合			—	—	80
		平成31年度	%	85			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・当事業は、これまでの明石の歴史や文化、明石のたからものなど明石固有の強みを発信し、幅広い世代の市民に改めて「ふるさと明石」に対する愛着や誇りを深めるための仕掛けづくりに取り組んでいる。</p> <p>・B-1グランプリ全国大会をはじめとする記念事業は一過性のイベントではなく、市民や事業者、関係機関等と一体となって実施することで、次の100年のまちづくりにもつながっていくものである。オール明石で記念事業に取り組むためには、100周年に対する市民等の認知度を上げていくことが非常に重要となるため、ホームページ、SNSなどの媒体や出前講座、各種イベント等を積極的に活用しながら、100周年のPRを行う。</p> <p>・県が管轄する明石城も明石を代表するたからものの一つであると認識しており、100周年記念事業と明石城築城400周年記念事業の相乗効果を図るためにも、県と市で連携して記念事業を行う。</p>						